

第24回 テーマ「モノづくりと人づくり、成形加工の伊達な未来」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特 別 講 演	講演者
2016 年 10 月 26 日, 27 日	仙台国際センター	248 件／ 565 名	・東京エレクトロンにおける物づくりと人づくり	竹淵裕樹（東京エレクトロン宮城(株) 顧問（一社）みやぎ工業会 理事長）

第25回 テーマ「賑わう、ええもん。未来にける成形加工。」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特 別 講 演	講演者
2017 年 10 月 31 日, 11 月 1 日	大阪国際会議場（グランキューブ大阪）	257 件／ 720 名	・混迷する現代社会、今こそ日本が誇る伝統文化。～時空を超える能楽の世界観、ものづくりへの期待もこめて～	能楽師 辰巳満次郎（重要無形文化財総合指定保持者）

表 2 講演会

第104回「振動・騒音制御技術と高分子材料―快適な生活環境を演出するために―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2008 年 7 月 25 日	タワーホール船堀 2 階「桃源」	・高分子材料による振動制御の基礎理論と応用技術 ・静音化のための技術・材料とその応用 ・制振工学から見た自動車の振動・騒音低減の方策について ・エンジン部品の樹脂化による音振性能への影響および対応 ・家電機器の低騒音・低振動化技術 ・免震、制震による建物の地震動制御	西 敏夫（東北大学） 飯田一嘉（ブリヂストンケービージー(株)） 岡村 宏（芝浦工業大学） 坂井雄紀（日産自動車(株)） 五味田寿光（日立アプライアンス(株)） 深堀美英（ロンドン大学）

第105回「ここまできたプラスチックリサイクル技術！―現状と今後の展望―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2008 年 10 月 10 日	タワーホール船堀 2 階「桃源」	・総論プラスチックリサイクル技術の動向 ・～自動車部品用プラスチックのリサイクル技術と応用～―現状と将来展望― ・～容器リサイクルの現状と今後及び海外の状況～ ・～自己循環型マテリアルリサイクルの現状と課題～ ・～OA 機器におけるプラスチックマテリアルリサイクルの展開と今後について～ ・～廃タイヤリサイクルの取り組みについて～	行本正雄（中部大学） 岩野昌夫（ポリマー技術・ビジネス開発研究所） 浅川 薫（(財)日本容器包装リサイクル協会） 隅田憲武（シャープ(株)） 相馬 論（リコー(株)） 橋本隆次（ブリヂストン(株)）

第106回「スポーツ用具と成形加工 ―スポーツを支えるものづくりの最前線―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2008 年 11 月 26 日	大阪ガスドームシティガスパビル 4 階 13 会議室	・スポーツ工学概説 ・コンポジットバットの成形と評価方法 ・シューズの成形加工について ・ゴルフクラブ用カーボンシャフトの成形加工 ・ゴルフボールの飛びの進化 ・快適性に優れるスポーツウェアの開発	細川健治（中部大学） 御園和則（ミズノ(株)） 森 貞樹（アシックス(株)） 中村崇人（藤倉ゴム工業(株)） 嶋崎平人（ブリヂストンスポーツ(株)） 石丸園子（東洋紡績(株)）

第 107 回「バイオプラスチックの現状と今後の動向 —地球温暖化対策に欠かすことができないバイオプラスチックの最新動向—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 2 月 5 日	タワーホール船堀	・ バイオプラスチックの最近の動向と市場 ・ サトウキビ由来ポリエチレンについて ・ ポリ乳酸の最近の技術動向と採用例 ・ 植物性シュリンクラベル：バイオマスラベルの採用について ・ 天然素材を使った自動車部品開発の現状と将来 ・ 電子機器用のバイオプラスチックの現状と将来展望	猪股 勲（日本バイオプラスチック協会） 佐藤慎一（豊田通商(株)） 白井宏政（ユニチカ(株)） 坂本朝紀（アサヒ飲料(株)） 西村拓也（トヨタ車体(株)） 位地正年（日本電気(株)）

第 108 回「— “伝熱” を極める東工大・佐藤研究室をのぞいて見よう—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 2 月 20 日	東京工業大学大岡山キャンパス	・ 成形加工における伝熱学 ・ 可視化・計測による成形加工プロセスの理解 ・ 新たな成形加工プロセスへの取り組み ・ 佐藤研究室が取り組んでいる研究の紹介 ・ 研究室見学および質疑応答	佐藤 勲（東京工業大学） 斉藤卓志（東京工業大学） 斉藤卓志（東京工業大学） 川口達也（東京工業大学）

第 109 回「どうなる、どうなの、マイクロ・ナノ成形 —成形加工と材料の技術動向—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 3 月 26 日	タワーホール船堀	・ 「ナノインプリント技術および樹脂加工におけるサブマイクロ成形加工技術」の特許出願技術動向について ・ ナノインプリントにおける離型の基礎と評価 ・ ナノインプリント法によるマイクロ・ナノ構造の成形 ・ MEMS の 設 計・ 研 究・ 解 析 支 援 シ ス テ ム「MemsONE」の開発 ・ ナノ多孔化—ポリマーアロイ法と超臨界法 ・ ポリマー系ナノコンポジットにおける最近の技術動向	大村博一，菅野智子（特許庁） 谷口 淳（東京理科大学） 平井義彦（大阪府立大学） 小寺秀俊（京都大学） 斎藤 拓（東京農工大学） 岡本正巳（豊田工業大学）

第 110 回「射出成形品表面の転写技術 —成形品の付加価値を高める最新技術の動向—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 4 月 21 日	東京理科大学森戸記念会館（第 1 会議室）	・ 高分子マイクロ・ナノ転写成形と内部構造発現 ・ 高転写成形による射出成形品の高機能化 ・ マイクロ・ナノ構造体の熔融微細転写システム ・ シクロオレフィンポリマーを用いた転写と機能発現の検討 ・ より進化するウエルドレス成形 ・ インプレスト成形（金型内塗装の特徴と機能性付与）	伊藤浩志（山形大学） 加藤 毅（ムネカタ(株)） 焼本数利（日本製鋼所(株)） 林 昌彦（日本ゼオン(株)） 山下部保秀（三菱商事テクノス(株)） 米持建司（大日本塗料(株)）

第 111 回「製品軽量化がもたらす付加価値向上 ―材料から成形技術まで―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 5 月 14 日	タワーホール船堀, 2 階「桃源」	・軽量化のためのエンジニアリングプラスチック, 工法の開発 ・フッ素ゴムフォームを用いた新幹線部品の軽量化 ・成形加工による自動車部品の機能統合―製品軽量化と付加価値向上の両立― ・MIM における部品軽量化と機能最適化のための成形技術 ・発泡シートを用いたハイブリッド加工技術による自動車部品成形	松島三典 (ポリプラスチック(株)) 本多 誠 (旭硝子(株)) 栃岡孝宏 (マツダ(株)) 田中茂雄 (太盛工業(株)) 廣田知生 (住友化学(株))

第 112 回「将来のエネルギーの技術を担う太陽電池・二次電池の開発の最前線」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 7 月 3 日	タワーホール船堀, 2 階「桃源」	・太陽電池の技術動向と高分子材料の展望 ・太陽電池の住宅用途への展開 ・有機薄膜太陽電池の開発とキーマテリアル ・自動車用高性能リチウムイオン電池の研究開発 ・次世代リチウム二次電池と高分子材料 ・リチウム二次電池開発の現状と環境分野への展開 ・ソフトパッケージ	浅野直城 (シャープ(株)) 太田真人 (積水化学工業(株)) 早川 優 (東京大学兼務日産自動車(株)) 吉野 彰 (旭化成(株)) 木村忠雄 (パナソニック(株)) 奥下正隆 (大日本印刷(株))

第 113 回「射出成形現象の可視化実験解析 ―成形現象を視る・測る・極める―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 9 月 11 日	東京大学駒場キャンパス総合研究実験棟 (An 棟) 3 階大会議室 301・302	・可視化・計測技術総論 ・金型内成形現象Ⅰ ・金型内成形現象Ⅱ ・超高速射出成形現象 ・加熱シリンダ内成形現象 ・研究室見学および質疑応答 (質問用紙)	横井秀俊 (東京大学生産技術研究所)

第 114 回「―“成形加工のためのレオロジー” 山形大・小山研究室をのぞいて見よう―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 10 月 16 日	山形大学米沢キャンパス VBL 3 F 秦ホール	・小山研究室の 35 年 ・レオロジー特性制御から成形加工性制御への応用 ・伸長流動下での成形加工 ・小山研究室の最近の研究動向 ・研究室見学 ・ポスターセッション及び交流会	小山清人 (山形大学) 杉本昌隆 (山形大学) 小室綾平 (山形大学大学院理工学研究科) 菊地康司 (山形大学大学院理工学研究科)

第 115 回「灯りを変える次世代照明 LED の最前線 ―光を操る最先端技術―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2010 年 2 月 2 日	タワーホール 船堀, 2 階「福寿」	・ LED 照明の市場動向 ・ LED 照明器具の現状と今後の展開／課題 ・ LED 用シリコン材料 ・ シルセスキオキサン骨格を有する透明樹脂の開発と LED 封止分野への応用 ・ LED 照明向け樹脂材料紹介 ・ LED 照明の最新技術と照明器具への展開 ・ 固体 NMR を用いた樹脂・無機材料の劣化評価	前原孝章 ((株)j 野村総合研究所) 松野 将 (東芝ライテック(株)) 中田稔樹 (東レ・ダウコーニング(株)) 西田裕文 (ナガセケムテックス(株)) 南園英雄 (帝人化成(株)) 下出澄夫 (LED 照明推進協議会) 三輪優子 ((株)東レリサーチセンター)

第 116 回「プラスチック微細接合技術最新動向と今後の展望 ―微細接合の現状と今後―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2010 年 3 月 2 日	工学院大学新宿キャンパス 高層棟 28 F 第 1・2 会議室	・ 表面活性化プロセス融合による低温接合技術の確立とマイクロデバイスへの応用 ・ トリアジンチオール接着技術による異種材料複合化の展開 ・ レーザ樹脂溶着の微細接合への適用 ・ ナノコンボジット技術を用いた光通用マイクロレンズ用樹脂開発 ・ MEMS の低応力実装・パッケージング技術 ・ 高分子材料のナノ接合	水野 潤 (早稲田大学) 平原英俊 (岩手大学) 松本 聡 (浜松ホトニクス(株)) 福原智博 (オムロン(株)) 佐名川佳治 (パナソニック電工(株)) 田中敬二 (九州大学)

第 117 回「押出機による溶融混練」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2010 年 4 月 23 日	東京工業大学百年記念館「フェライト会議室」	・ 溶融混練の基礎理論と現状 ・ 二軸混練押出機による混練技術・装置の変遷と今後の動向 ・ 押出機のスクリュ混練制御とプロセスへの最適化 ・ 二軸混練機による混練技術とスクリュエレメント選択のポイント ・ 企業における混練プロセスの設計技術	梶原稔尚 (九州大学) 田中達也 (同志社大学) 富山秀樹 ((株)日本製鋼所) 小林昭美 (東芝機械(株)) 菅谷武久 (積水化学工業(株))

第 118 回「医療を支える機能性高分子材料の最前線 ―材料開発、成形加工および応用技術―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2010 年 6 月 23 日	タワーホール 船堀, 2 階「桃源」	・ バイオマテリアルの設計と評価 ・ 再生医療とプラスチック成形加工 ・ 医用膜の設計と血液接触時の性能 ・ 血液浄化用医療機器の設計と製造 ・ 生体内分解吸収性高分子材料の臨床応用	山岡哲二 (国立循環器病センター) 梶原稔尚 (九州大学) 大野 仁 (東洋紡(株)) 堀 禎憲 (日機装(株)) 玄 丞然 (京都大学)

第 119 回「魅せるプラスチック射出成形 —まだまだこれから、型と成形の Japanese Technology—」(型技術協会とプラスチック成形加工学会のコラボ企画)」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2010 年 7 月 29 日	タワーホール船堀 「瑞雲の間」	・成形加工のシステム化 ・型と成形の技術マネジメント ・工夫次第の成形加工 ・金型・成形【もう一つの切り口】 ・自動車の軽量化技術動向と、プラスチック材料への期待と課題 ・成形メーカー様へ金型企業からのラブレター	東 啓二 (パナソニック電工(株)) 田中司郎 ((株)長津製作所) 小山 弘 (トヨタ紡織(株)) 竹内 宏 ((株)新興セルビック) 阿部知和 (ホンダエンジニアリング(株)) 榎山剛士(榎山金型工業(株))

第 120 回「バイオプラスチックの現状と今後の動向 —実用化が進んできているバイオプラスチックの最新動向—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2010 年 10 月 19 日	タワーホール船堀	・バイオプラスチックの現状と今後の課題 ・耐熱性ポリ乳酸の開発と実用化に向けた今後の課題 ・植物由来エンジニアリングプラスチックポリアミド 11 およびポリアミド 11 系エラストマーの用途展開 ・天然系繊維のコンポジット成形 ・植物原料プラスチックの電子機器分野への導入について ・家電分野におけるバイオプラスチック適用の課題	猪股 勲 (日本バイオプラスチック協会) 三井淳一 (ユニチカ(株)) 宮保 淳 (アルケマ(株)) 長岡 猛 (神鋼テクノ 兼務 京都工芸繊維大学) 藤平裕子 (ソニー(株)) 馬場文明 (三菱電機(株))

第 121 回「押出機による熔融混練Ⅱ」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2011 年 1 月 17 日	タワーホール船堀	・熔融混練の基礎理論と現状 ・押出機のスクリュ混練制御とプロセスへの最適化 ・企業における混練プロセスの設計技術 ・二軸混練押出機による混練技術・装置の変遷と今後の動向	梶原稔尚 (九州大学) 富山秀樹 ((株)日本製鋼所) 菅谷武久(積水化学工業(株)) 田中達也 (同志社大学)

第 122 回「プリンタブルエレクトロニクスデバイスにおける成形加工の現状と今後の動向 —印刷を用いたデバイス作製によるモノづくりの大変革と将来展望—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2011 年 1 月 17 日	タワーホール船堀	・プリンタブルエレクトロニクス概論 ・フレキシブルディスプレイの展望とプリンタブルエレクトロニクスの適用 ・インクジェットによる導電膜形成のための材料～金属ナノ粒子インク～ ・プリンタブルエレクトロニクスにおけるフィルム基材の現状と今後の展開 ・フレキシブルデバイス用ポリエステルフィルムの現状と課題 ・印刷技術を用いたプリンタブルエレクトロニクスへの応用	吉田兼紀 (産業技術総合研究所) 寺内健一 ((有)ICTECH) 大沢正人 ((株)アルバック) 吉田重信 (三菱樹脂(株)) 吉田哲男 (帝人デュボンフィルム(株)) 渡辺二郎 (凸版印刷(株))

第 123 回「ポリマーアロイ・ブレンド技術の最新動向と今後の展望 ―高次構造／物性制御とその評価解析技術―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2011 年 4 月 25 日	タワーホール船堀 「瑞雲の間」	・ポリマーアロイの基礎と最新動向 ・ポリマーアロイの混練・分散技術：二軸スクリュ押出機を中心に ・ポリマーアロイ・ブレンドのレオロジーおよび力学的性質 ・高せん断成形加工法による新機能ポリマーアロイの創製 ・高分子“ナノアロイ” ・ポリマーアロイのナノ構造の観察と分析・解析	井上 隆（山形大学） 酒井忠基（静岡大学） 西谷要介（工学院大学） 清水 博（産業技術総合研究所） 小林定之（東レ(株)） 加藤 淳（(株)日産アーク）

第 124 回「フィラーコンポジットにおける配向制御と機能発現」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2011 年 6 月 2 日	東工大蔵前会館ロ イアルブルーホー ル	・フィラー充填コンポジットーフィラー分散と高機能化ー ・ポリプロピレン複合材料におけるタルクの役割 ・ガラス繊維強化樹脂成形品非平板部における繊維配向と品質 ・天然繊維の改質によるグリーンコンポジットの高靱化・高強度化 ・フィラーの分散・配向制御と X 線 CT による 3 次元観察	小長谷重次（名古屋大学） 平野幸喜（(株)プライムポリマー） 古橋 洋（(株)デンソー） 合田公一（山口大学） 高橋雅興（京都工芸繊維大学）

第 125 回「二次電池の最新動向と今後の展望」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2011 年 7 月 27 日	京都工芸繊維大学 総 合 研 究 棟 4 F 「多目的室」	・バッテリースーパークラスターへの展開～西日本における蓄電池産業の強みと今後の展望～ ・リチウムイオン電池の現状と今後の動向 ・環境車両用高性能リチウムイオン電池の研究開発 ・リチウムイオン電池の開発とセパレータの最新動向 ・リチウム二次電池のラミネート外装材 ・有機ラジカル電池の開発	坂田枝実子（(株)日本政策投資銀行） 雨堤 徹（Amaz 技術コンサルティング） 堀江英明（日産自動車(株)／東京大学） 中島孝之（三菱化学(株)） 奥下正隆（大日本印刷(株)） 中野嘉一郎（日本電気(株)）

第 126 回「成形加工を武器に進化し続ける九大・梶原研究室をのぞいて見よう」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2011 年 11 月 18 日	九州大学伊都キャンパスウェスト 4 号館 732 室	・梶原研究室の研究概要 ・二軸スクリュ押出機における特殊混練スクリュと熔融混練メカニズム ・石英ガラスのナノ・マイクロ微細構造形成と光学的・電気的応用 ・ポリマースキャホールドを用いた細胞組織構築とバイオ人工臓器への応用 研究室見学	梶原稔尚（九州大学） 名嘉山祥也（九州大学） 藤野 茂（九州大学） 水本 博（九州大学）

第 127 回「医療と高分子材料加工技術の今後の展望 再生医療の基材と成形加工の展開性」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2012 年 2 月 3 日	工学院大学 新宿 キャンパス 28 F 第 1, 2 会議室	- 細胞活性バイオマテリアル表面の構築－合成材料と脱細胞組織－ - 弾性マイクロパターンニングゲルを用いた細胞機能操作 - 高分子加工技術を用いた DNA チップの開発 - 生体吸収性高分子を用いた医療機器の開発 2 次元・3 次元高分子材料による細胞機能制御と医療用デバイスの創製 - 再生医療用多孔質材料の作製及び複合化技術	山岡哲二（国立循環器病センター） 木戸秋 悟（九州大学） 生田健次郎（三菱レイヨン（株）） 松田晶二郎（ゲンゼ（株）） 田中 賢（山形大学） 陳 国平（物質材料研究機構）

第 128 回「バイオプラスチック定点観測 ―バイオプラスチックの最新動向と製品への適用事例―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2012 年 2 月 13 日	タワーホール船堀 2 F 瑞雲	- バイオプラスチックをめぐる内外の動向 - 高耐熱ポリ乳酸の開発 - 難燃ポリ乳酸樹脂の開発と製品適用 - バイオポリカーボネートの開発 - 木質バイオベースプラスチックの事務機器への展開 - ハイブリッドセダンにおけるエコプラスチックへの取り組み	猪股 勲（日本バイオプラスチック協会） 遠藤浩平（帝人（株）） 串田賢司（東レ（株）） 山中克浩（帝人化成（株）） 大越雅之（富士ゼロックス（株）） 加藤 亨（トヨタ自動車（株））

第 129 回「プラスチック光学材料の基礎から機能設計まで」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2012 年 4 月 19 日	東京工業大学蔵前 会館ロイヤルブ ルーホール	- 高速プラスチック光ファイバーと Face-to-Face コミュニケーション - 環状オレフィン樹脂の光学的性質とその用途 - ポリカーボネートは何故光ディスク材料として採用されたのか - 光学素子向け射出成形 CAE の基礎と事例について - 複屈折分布の高速測定技術とその応用例 - 低複屈折樹脂を使用した光学部品開発	小池康博（慶應義塾大学） 國本栄起（ポリプラスチックス（株）） 梅村俊和（菱江化学（株）） 山田高光（東レエンジニアリング（株）） 井上喜彦（（株）フォトリテックス） 古田勝己（コニカミノルタオプト（株））

第 130 回「二次電池の最新動向と今後の展望」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2012 年 5 月 10 日	きゅりあん	- 次世代蓄電池の現状と展望 - 取引構造からみるリチウムイオン電池産業の分析 - リチウムイオン電池の現状と今後の動向 ～原材料から用途まで～ - リチウムイオン電池の開発とセパレータの最新動向 - PVDF（ポリフッ化ビニリデン）樹脂の特長と二次電池への応用展開 - 蓄電デバイスの評価技術	安部武志（京都大学） 小松崎五郎（（株）帝国データバンク） 雨堤 徹（AMAZ 技術コンサルティング合同会社） 中島孝之（三菱化学（株）） 宮保 淳（アルケマ（株）） 木下 肇（（株）KRI）

第 131 回「成形品の故障解析&寿命予測 ―樹脂製品の健康診断, その見方・活用法―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2012 年 7 月 18 日	東京工業大学蔵前 会館 ロイヤルブルー ホール	・プラスチック製品の割れトラブル原因と対策 ・高分子材料の故障解析&寿命予測に役立つ分析・解析手法の紹介 ・電気製品／部品故障の可視化技術 ・赤外線カメラおよび超音波による非破壊解析技術 ・電気・電子機器におけるプラスチック成形品の故障, 欠陥, 防止法の事例	本間精一(本間技術士事務所) 加藤 淳 ((株)日産アーク) 小林吉一 (楠本化成(株)) 渋谷 清 (JFEテクノリサーチ(株)) 馬場文明 (三菱電機(株))

第 132 回「電子機器の放熱とプラスチック」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2012 年 10 月 16 日	きゅりあん大会議 室	・電子機器の熱設計：基礎と実際 ・電気絶縁系熱伝導性材料の最適設計とフィラー選定 ・熱伝導性材料 (樹脂自体の高熱伝導化技術を中心に) ・車載電子製品の小型・高放熱技術とそれを支える樹脂材料 ・熱伝導性プラスチック製品の開発と CAE を用いた熱流体解析について ・熱伝導性樹脂の開発とその用途展開	石塚 勝 (富山県立大学) 小堺規行 (住友大阪セメント(株)) 松本一昭 ((株)カネカ) 神谷有弘 ((株)デンソー) 吉村友男 (スターライト工業(株)) 慶徳簡夫 (三菱エンジニアリングプラスチックス(株))

第 133 回「フィラーコンポジットにおける分散配向制御と機能発現」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 1 月 22 日	名城大学名駅サテ ライト多目的室	・混練押し機の変遷とフィラー・繊維の分散技術 ・フィラー充填コンポジットーフィラー分散と高機能化ー ・ガラス繊維強化樹脂成形品非平板部における繊維配向と品質 ・フィラーコンポジットにおける CAE 技術 ・フィラーの分散・配向制御と X 線 CT による 3 次元観察	田中達也 (同志社大学) 小長谷重次 (名古屋大学) 古橋 洋 ((株)デンソー) 小沢 拓 ((株)JSOL) 高橋雅興(京都工芸繊維大学)

第 134 回「機能性フィルムの最新動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 3 月 8 日	工学院大学(新宿) 28 階会議室	・LCD ディスプレイ用フィルム ・透明導電性フィルムの開発動向 ・フレキシブル・プリンテッド有機エレクトロニクスの研究動向 ・有機 EL ディスプレイバリアフィルム ・大気圧プラズマの基礎と表面処理技術への応用 ・太陽電池用封止シート	荒川公平 (日本ゼオン(株)) 小長谷重次 (名古屋大学) 時任静士 (山形大学) 藤縄 淳 (富士フイルム) 小駒益弘 (上智大学) 善光洋文 (三井化学東セロ(株))

第 135 回「高分子材料のトライボロジー」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 6 月 14 日	東工大蔵前会館ロ イヤルブルーホー ル	・高分子材料のトライボロジー概論 ・エンブラ系高分子トライボマテリアル ・ナノカーボン添加樹脂系複合材料のトライボロジー特性 ・金属との複合化による樹脂軸受の機能向上 ・水素雰囲気におけるシール用樹脂材料のトライボロジー	広中清一郎 (首都大学東京) 永井雅之 (三菱エンジニアリングプラスチックス(株)) 榎本和城 (名城大学) 石井卓哉 (NTN(株)) 澤江義則 (九州大学大学院)

第 136 回「防塵防水シールの基礎からトレンド・最新技術」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 8 月 6 日	東工大蔵前会館ロ イアルブルーホー ル	・ 防水，防塵性能評価を含む信頼性評価技術全般と最近の事例紹介 ・ 高分子材料を使用した静的・動的シールの基本的な考え方と製品事例紹介 ・ 金属と樹脂を型内で接合する成形技術 ・ 熱可塑性樹脂二材とシリコンの三材成形法 ・ 金属と樹脂の射出成型接合での，防塵・防水・気密 ・ 異種材料の直接接着技術－接着機構と応用例	中村隆治（OKI エンジニアリング(株)） 水田裕賢（NOK(株)） 小林伊智郎（トーノ精密(株)） 三宅和彦（(株)セントラルファインツール） 成富正徳（大成プラス(株)） 六田充輝（ダイセル・エボニック(株)）

第 137 回「樹脂系材料による自動車軽量化の最新動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 9 月 20 日	工学院大学新宿 キャンパス 3 階アーバンテッ クホール	・ 自動車における軽量化技術の現状と展望 ・ 自動車用プラスチック材料の開発状況と今後の展開 ・ 炭素繊維複合材料の自動車構造部材への適用技術とその最新動向 ・ 自動車樹脂グレージングの開発とその課題 ・ 自動車部品の軽量化に向けた多機能複合成形システム ・ 自動車における植物由来および天然繊維強化樹脂の現状および成形加工における課題	影山祐史（トヨタ自動車(株)） 藤田祐二（三菱化学(株)） 鵜沢 潔（金沢工業大学） 今泉洋行（三菱エンジニアリングプラスチックス(株)） 岡本昭男（宇部興産機械(株)） 長岡 猛（名古屋大学 NCC）

第 138 回「バイオプラスチック関連技術の現状と今後の展望 ―新素材開発と応用の最新動向―」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 11 月 18 日	工学院大学新宿 キャンパス高層棟 28 F 第 1・第 2 会 議室	・ バイオプラスチック技術の現状・今後の展望と製品認証制度 ・ ポリ乳酸の高性能化技術および新しいバイオマスポリマー ・ ヒマシ油由来高機能ポリアミド樹脂材料の特徴と用途展開 ・ 植物イソプレノイド由来高機能バイオポリマー ・ 電子機器用バイオプラスチックの現状と将来展望	猪股 勲（日本バイオプラスチック協会） 川田憲一（ユニチカ(株)） 下西祥幸（アルケマ(株)） 中澤慶久（日立造船(株)／大阪大学） 位地正年（日本電気(株)）

第 139 回「多様化するバリアフィルム」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2014 年 1 月 14 日	タワーホール船堀 4 F 研修室（江戸 川区総合区民ホー ル）	・ 複雑化するバリアフィルムとその透過挙動 ・ (仮題)透明バリアフィルム ・ (仮題)有機 EL 用バリアフィルム ・ 無機二元蒸着バリアフィルム ・ ハイバリア PET ボトルの新規用途開発 ・ (仮題)有機／無機ハイバリアフィルムの特性について	平田雄一（信州大学） 渡辺二郎（凸版印刷(株)） 古川忠宏（山形大学） 小林正典（東洋紡(株)） 鮫島拓也（三菱樹脂(株)） 藤 縄 淳（富士フィルム(株)）

第 140 回「成形トラブル回避の第一歩，金型メンテナンスに注目」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2014 年 2 月 28 日	タワーホール船堀 2 階桃源	・射出成形金型メンテナンスのノウハウ概論 ・表面性状パラメータと離型 ・表面処理および表面加工の離型性評価について ・金型による成形トラブルを解決するための表面処理 ・金型材料とメンテナンスについて ・ガス抜き常識は非常識？	青葉 堯(青葉技術士事務所) 内館道正 (岩手大学) 政 誠一 ((株)北熱) 大石隆夫 ((株)不二製作所) 遠山文夫 (日立金属(株)) 斎藤輝彦 ((株)斎藤金型製作所)

第 141 回「成形品の劣化現象と寿命予測 ―樹脂製品の環境変化とその見方―

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2014 年 5 月 16 日	東工大蔵前会館 ロイヤルブルー ホール	・パイプやガス機器の樹脂部品の耐久性評価 ・高分子材料の長寿命化のための添加剤の役割 ・全国各地域におけるポリエチレンリファレンス試験片を用いた屋外暴露試験 ・微弱発光法を用いた高感度酸化検出による酸化安定性評価の短時間化 ・家電製品におけるプラスチック成形品の耐久性	西村寛之(京都工芸繊維大学) 根岸由典 ((株)ADEKA) 金野克美 ((地独)北海道立総合研究機構) 山田理恵(東北電子産業(株)) 馬場文明 (三菱電機(株))

第 142 回「アロイ・ブレンド・複合化におけるナノフィラーの分散・制御技術」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2014 年 8 月 28 日	工学院大学新宿 キャンパス 3 階アーバンテック ホール	・高分子中の機能性フィラーの分散制御 ・高分子多相系におけるカーボンナノチューブの局在化 ・熱伝導性高分子複合材料の開発 ・金属酸化物ナノ粒子/熱可塑性ポリマー複合材料の熔融混練法による調製と課題 ・熔融混練技術を駆使した材料の機能性アップの可能性	高橋雅興(京都工芸繊維大学) 山口政之 (北陸先端科学技術大学院大学) 永田謙二 (名古屋工業大学大学院) 藤本康治 ((株)KRI) 辰巳昌典 ((株)プラスチック工学研究所)

第 143 回「山形大学工学部を見に行こう！ “有機エレクトロニクス，成形加工編”」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2014 年 9 月 11 日, 12 日	山形大学工学部 (米沢キャンパス) 百周年記念会館	・有機 EL 照明の研究開発から産業化まで ・有機エレクトロニクスイノベーションセンターでの産学官金連携によるリチウムイオン電池材料開発研究について ・高分子フィルム上に形成する軽量・大面積有機集積回路 ・山形大学工学部の歴史と今後への期待 ・有機エレクトロニクス研究センター (ROEL) (10 号館) 見学 ・機能高分子分野の紹介，高分子レオロジーと成形加工 ・バイオマスフィラーの新規非晶化技術とポリマーコンポジットへの展開 ・3D プリンタによる分子，科学模型の作成 ・見学 (杉本研究室) ・見学 (西岡・香田・宮田研究室) ・見学 (古川・川上研究室) ・見学 (有機エレクトロニクスイノベーションセンター)	城戸淳二 (山形大学大学院理工学研究科) 吉武秀哉 (山形大学大学院理工学研究科) 福田憲二郎 (山形大学大学院理工学研究科) 小山清人 (山形大学) 見学引率：センター担当者 杉本昌隆 (山形大学大学院理工学研究科) 宮田 剣 (山形大学大学院理工学研究科) 川上 勝 (山形大学大学院理工学研究科) 見学引率：研究室学生 見学引率：研究室学生 見学引率：研究室学生 見学引率：センター担当者”

第 144 回「基礎から学ぶレオロジー「押出成形とレオロジー」」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2014 年 12 月 10 日	ヒューリック浅草橋ビル 3F room 3	・レオロジー入門 ・伸長レオロジー入門 ・New measurement technology (made in Germany) – knowledge gained by laboratory facilities for production ・分子配向制御と伸長レオロジー ・フィルム成形と伸長レオロジー	増渕雄一（京都大学） 増渕雄一（京都大学） Joachim Sunder（Gottfert） 信川省吾（北陸先端科学技術大学院大学） 大槻安彦（（株）プライムポリマー）

第 145 回「Additive Manufacturing（AM，付加製造）-3D プリンタの技術革新と応用事例-」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2015 年 1 月 20 日	工学院大学新宿キャンパス 3 階アーバンテックホール	・付加製造技術の概要 ・付加製造技術を用いた金型製造法 ・付加製造技術で“個客”創造 ・アディティブ・マニファクチャリングを支えるソフトウェアプラットフォーム ・AM（3D プリンタ）の最新動向	新野俊樹（東京大学） 植原弘之（九州工業大学） 春日寿利（スリーディー・システムズ・ジャパン） 小林 毅（マテリアライズジャパン） 早野誠治（アスペクト）

第 146 回「光学材料の最新技術動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2015 年 3 月 6 日	東京都立産業技術研究センター本部 東京イノベーションハブ	・ポリマーの複屈折消去・制御と高画質ディスプレイへの応用 ・ナノインプリントによるマイクロレンズアレイ、ウェハレベルレンズの微細成形技術 ・自動車用ポリカーボネート樹脂・樹脂グレージングの開発動向 ・建築用ガラスに関する技術動向と求められるもの ・最近のタッチパネル&材料の技術動向 ・東京都立産業技術研究センター光学関連部署の紹介・見学	多加谷明広（慶應義塾大学） 小久保光典（東芝機械(株)） 帆高寿昌（帝人(株)） 平松徹也（旭硝子(株)） 板倉義雄（（株）タッチパネル研究所）

第 147 回「材料設計につながるプラスチック成形加工の分析技術」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2015 年 6 月 23 日	東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール	・化学修飾セルロース水溶液の水和数とレオロジー：粘弾性の基礎を踏まえて ・NMR による高分子の解析 ・プラスチック成形技術と X 線 CT ・各種散乱法を用いた高分子材料の階層構造の解析 ・赤外分光・ラマン分光・nano-IR を用いた階層的イメージング技術と事例 ・電子顕微鏡によるプラスチック内部局所構造解析	四方俊幸（東京農工大学） 河原成元（（公財）石川県産業創出支援機構） 西川幸宏（京都工芸繊維大学） 竹中幹人（京都大学） 加藤 淳（（株）日産アーク） 堀内 伸（産業技術総合研究所）

第 148 回「自動車軽量化技術の最新動向と開発事例」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2015 年 7 月 17 日	タワーホール船堀 (2F 桃源の間)	・ 自動車を取り巻く環境と軽量化技術開発について ・ CF,CFRTP の開発動向と日本での取り組み ・ CFRP ボディを世界で初めて実用化した量販 EV ・ ドイツにおける軽量化技術開発現状から量産化まで ・ 樹脂外板の樹脂化に関する取り組み ・ 軽量化と高機能化を支える最新射出成形技術	河村 信也 (トヨタ自動車(株)) 西原正浩 (長岡技術科学大学) 山根 健 (山根健オフィス (BMW(株)技術顧問)) 上村泰二郎 (GSI Europe 社) 鈴木繁生 (日立化成(株)) 戸田直樹 (三菱重工プラスチックテクノロジー(株))

第 149 回「将来の大量生産を狙った CFRP 軽量化技術」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2015 年 8 月 31 日	タワーホール船堀 2 階瑞雲	・ 熱可塑性複合材料による自動車の軽量化 ・ プレス成形による自動車 CFRP 部材量産技術/PCM と CF-SMC ・ 連続繊維熱可塑性材料と欧州自動車量産事例 ・ 熱可塑性 CFRP と金属のレーザ溶着技術 ・ CFRP の大型・高生産化の動向とその成形技術 ・ 自動車構造への CFRP 適用の現状・展望と名大 NCC の果たす役割	横山盛之 (ダイセルポリマー(株)) 秋山浩一 (三菱レイヨン(株)) 馬場俊一 (サンワトレーディング(株)) 三瓶和久 (前田工業(株)) 鶴澤 潔 (金沢工業大学革新複合材料研究開発センター) 石川隆司 (名古屋大学ナショナルコンポジットセンター)

第 150 回「身近な現場で考える地球環境問題とプラスチック製造」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2015 年 9 月 28 日	東京都立産業技術 研究センター本部 東京イノベーションハブ	・ 東京都産業技術研究センターの概要 ・ 射出成形機の変遷と環境負荷低減への取り組み ・ 炭素繊維のリサイクルとその背景、問題点、そして、ビジネスの可能性 ・ 家電混合プラスチック自己循環リサイクル技術 ・ 環境負荷低減とコストダウンを同時に実現するマテリアルフローコスト会計 (MFCA)	稲葉 敦 (工学院大学) 松崎孝治 ((株)日本製鋼所) 藤井 透 (同志社大学) 井関康人 (三菱電機(株)) 安城泰雄 (MFCA 研究所)

第 151 回「バイオマスフィラーを用いた環境調和型材料の最新動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 1 月 26 日	兵庫県民会館 303 会議室	・ 木質からのリグノセルロースナノファイバー製造および樹脂複合化技術 ・ セルロースナノファイバー (CNF) の実用化開発 ・ パルプを用いたナノセルロースの開発 ・ ウッドプラスチックの可能性と展望 ・ 間伐材をフィラーとした射出材料の開発と自動車部品への適用 ・ 強化用セルロース系天然繊維の力学的役割と強度信頼性	遠藤貴士 (産総研中国センター) 河崎雅行 (日本製紙(株)) 田中裕之 (中越パルプ工業(株)) 伊藤弘和 (トクラス(株)) 西村拓也 (トヨタ車体(株)) 合田公一 (山口大学)

第 152 回「建材用高分子材料の開発動向と最新技術」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 2 月 12 日	東京都立産業技術研究センター本部 東京イノベーションハブ	・非住宅、住宅、鉄道関係のメラミン樹脂不燃内装材料について ・異型押出建材の基礎技術から欧米の WPC 建材成形技術について ・耐火性能をもつ建物排水・通気用塩ビ管 ・樹脂窓について（仮） ・土木構造物の CFRP による補強 ・東京都立産業技術研究センター音響施設（結合残響室）の見学	中田高弘（住友ベークライト（株）） 大峠慎二（トクラス（株）） 岡部優志（積水化学工業（株）） 石橋 亮（YKKAP（株）） 松村政秀（京都大学）

第 153 回「射出成形現象の可視化と体系化 —東京大学生産技術研究所横井秀俊教授のスペシャルセミナー—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 6 月 13 日	タワーホール船堀 2F 桃源	・可視化・計測技術総論 ・金型内成形現象Ⅰ ・金型内成形現象 ・加熱シリンダー内成形現象	横井秀俊（東京大学生産技術研究所）

第 154 回「混合・混練評価に CAE 技術はどこまで使えるのか？」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 8 月 4 日	タワーホール船堀 （江戸川区総合区民ホール）桃源（2 階）	・熔融混練の基礎理論と CAE による混練評価 ・実業務への押出 CAE の活用とその限界について ・押出機内の樹脂流動解析を利用した混合・混練評価 ・二軸スクリュ押出機の 2.5 D FEM 熱流動シミュレーションと実験検証 ・ゴム混練機とその内部の混練解析	梶原稔尚（九州大学） 富山秀樹（（株）日本製鋼所） 竹田 宏（（株）アールフロー） 谷藤眞一郎（（株）HASL） 福谷和久（（株）神戸製鋼所）

第 155 回「超精密成形加工の最新技術動向～CAE／材料／金型／成形～」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 11 月 2 日	タワーホール船堀 （江戸川区総合区民ホール） 桃源（2 階）	・超精密成形加工の現状と今後の展開 ・精密成形に適したエンブラ系材料の最新技術動向 ・成形現象および成形品の評価と CAE の精度検証 ・究極のものづくりは「ひとづくり環境づくり」 ・超精密成形における射出成形機とプロセス技術 ・MuCell®プロセスによる寸法安定性の改善	伊藤浩志（山形大学） 小久保章博（三菱エンジニアリングプラスチックス（株）） 瀬戸雅宏（金沢工業大学） 山添重幸（（株）かいわ） 澤田靖彦（（株）日本製鋼所） 吉里成弘（トレクセルジャパン（株））

第 156 回「レオロジーと成形加工」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 12 月 6 日	工学院大学新宿キャンパス 3F アーバンテックホール	・高分子レオロジーの基礎 ・加工性を予測するためのレオロジー測定 ・構造レオロジーと成形加工性 ・フィルムと伸長レオロジー ・CAE	増渕雄一（名古屋大学） 山口政之（北陸先端科学技術大学院大学） 高橋雅興（京都工芸繊維大学） 大槻安彦（（株）プライムポリマー） 谷藤眞一郎（（株）HASL）

第 157 回「国内および欧州における CFRP 軽量化技術の最新動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2017 年 1 月 12 日	東京都立産業技術 研究センター本部 「中 2 階ホール」	・東京都立産業技術研究センターの紹介 ・CFRP RTM の基礎および 3 D Printer ・TM シミュレーションの現状と将来展望 ・複合材を用いた既存の概念とは異なる自動車の実績 ・欧州における最新の CFRP 生産技術動向 ・CFRP のハイスサイクル成形技術の開発 ・CFRP プレス成形及び CFRP-金属ハイブリッド成形技術について	松崎亮介（東京理科大） 青野芳大（日本イーエスアイ（株）） 齋藤拓也（SGL カーボンジャパン（株）） 外山 寿（CANNON S.p.A.） 福井武久（（株）栗本鐵工所） 馬場泰一（矢島工業（株））

第 158 回「ポリマーブレンド・コンポジットの分析におけるポイントと事例」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2017 年 4 月 25 日	東工大蔵前会館 ロイヤルブルー ホール	・ブレンド・コンポジットのレオロジー的解析 ・高分子材料を電子顕微鏡で眺めるーポリマー ABC の顔と材料特性ー ・ポリマーブレンド・ナノコンポジットの固体 NMR スペクトル ・ポリマーブレンド・コンポジットの界面分析 ・各種分析法を駆使した事例紹介 「高耐衝撃性ポリマーアロイの開発アプローチ」	山口政之（北陸先端科学技術 大学院大学） 佐野博成（京都大学） 浅野敦志（防衛大学校） 吉田博久（首都大学東京） 加藤 淳（（株）日産アーク）

第 159 回「自動車内外装品のプラスチック加飾の最新動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2017 年 9 月 28 日	スクエア荏原 大 会議室（3 階）	・加飾技術の現状と今後の展開～自動車内外装部品を中心に～ ・フィルム加飾の最新動向 ・自動車内装デザインに対応出来る加飾技術 ・加飾成形市場における高透明 PP 加飾シートの展開 ・射出成形と同時加飾プロセス	榊井捷平（MTO 技術研究所） 名木義幸（大日本印刷（株）） 加藤 巧（南条装備工業（株）） 多田圭志（出光ユニテック（株）） 岡本昭男（U&M プラスチックソリューションズ（株））

第 160 回「光学材料とその技術動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2017 年 10 月 24 日	スクエア荏原 大 会議室	・環状オレフィン系樹脂の特徴と用途展開 ・フレキシブルディスプレイを指向したフィルムの力学解析と光学フィルムの創成プロセス開発 ・透明ポリマー材料の光散乱と複屈折 ・無機ナノフィラーとの複合化による透明アクリル樹脂の屈折率制御 ・熱硬化性の高屈折率樹脂 LumipluS を用いた光学素子	木津巧一（三井化学） 穴戸 厚（東京工業大学） 斎藤 拓（東京農工大学） 棚橋 満（名古屋大学） 並木康佑（三菱ガス化学）

第 161 回「押出・混練の基礎と最新技術動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2017 年 12 月 13 日	大阪産業技術研究所 森ノ宮センター	・二軸押出機におけるスクリュウ構成の最適化と混練条件の設定とスケールアップ ・最近の押出機の開発動向と可視化解析押出技術 ・押出混練時のトラブル現象や技術課題への対処法 ・二軸スクリュウ押出機を用いた混練・混合技術の進展：ポリマーアロイのモルフォロジー形成を中心に ・ポリオレフィンナノコンポジットの開発	大田佳生（旭化成(株)） 辰巳昌典（(株)プラスチック工学研究所） 百地 弘（東芝機械(株)） 酒井忠基（静岡大学） 谷池俊明（北陸先端科学技術大学院大学）

第 162 回「工業製品の劣化解明と長寿命化に関する技術動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2018 年 1 月 24 日	スクエア荏原 大会議室	・日本の風土を考慮した社会インフラ設備の耐久性のあり方と長寿命化 ・ゴム O リングの寿命予測手法 ・樹脂の疲労寿命予測と非破壊検査技術 ・FRP の耐久性について ・工業製品・部材の長もちの科学	久米辰雄((元)大阪ガス(株)) 堀田 透(藤倉ゴム工業(株)) 町田邦郎 ((元)(株)ブリヂストン) 藤井善通（金沢工業大学） 西村寛之(京都工芸繊維大学)

第 163 回「バイオミメティクスと成形加工～最新技術と製品への応用～」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2018 年 3 月 29 日	工学院大学新宿キャンパス 28 F 第 1 会議室	・バイオミメティクスの動向と我が国の課題 ・表面構造を利用したバイオミメティック液体操作 ・生物構造に学び組紐技術を用いた FRP の創製 ・材料研究におけるインフォマティクスとバイオミメティクス ・モスアイ型反射防止フィルムの連続成形技術の開発 ・ネイチャーテクノロジー応用による家電製品の価値創造	下村政嗣(千歳科学技術大学) 石井大佑（名古屋工業大学） 喜成年泰（金沢大学） 宮内昭浩（東京医科歯科大学（元）(株)日立製作所） 魚津吉弘(三菱ケミカル(株)) 大塚雅生（シャープ(株)）